

# 平日山行 丹波の山と温泉を楽しんだ 虚空蔵山～和田寺山～こんだ温泉

2019年6月24日

<参加メンバー> 7人(男性4人、女性3人)

<天 候> 晴れ後曇り、後雨

## <コースタイム>

JR 藍本駅 9:50 発 — 10:13 舞鶴道下トンネル — 10:40 虚空蔵堂(休憩) 10:50 — 11:20 虚空蔵山 11:30 — 11:44 陶の郷分岐(ランチタイム) 12:04 — 12:40 陶の郷 — 12:52 和田寺山登山口 — 和田寺山 — 15:50 こんだ温泉

## <山行の概要>

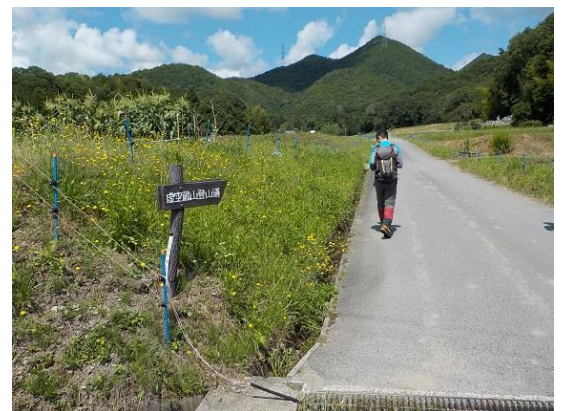
虚空蔵山には何度も登っているが、今回は和田寺山へのマイナーな縦走コースに挑戦してみた。道は不明瞭なところもあったが、肝心なところには道標があり、道に迷うことはなかったが、急登、激下りのコースがあってなかなか手応えのある山だった。熟練者コースと言えるだろう。こんだ温泉の露天風呂は最高だった。



1. 藍本駅を出発し、集落の中の舗装道を行く



2. 酒飲みが酒滴神社にお参りする



3. 田園の中の道を行く。虚空蔵山はこの右奥



4. 舞鶴道のトンネルくぐって進む



5. いよいよ登山道に入る



6. 暫くは明るい広葉樹林の森の中を進む



7. 道が急になってくる



8. 虚空蔵堂に到着 しばし休憩する



9. 案内板に姨捨の記述が記されている。昔、飢饉の時に一家のことを思った老婆が自らを姥捨てにせよと言って、息子に山に連れて行かせた話し。しかし、息子はそれが耐えられず、連れ帰ったという...



10. 陶の郷との分岐 頂上はもうすぐ



11. 虚空蔵山頂上に到着



11. ココは展望が良く、しばし遠望を楽しむ



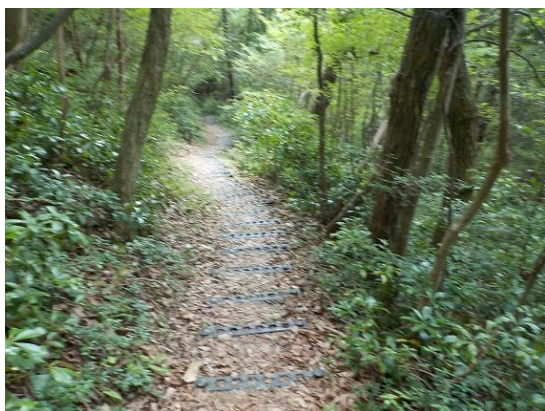
12. 陶の郷分岐に戻り、ココでランチにした



14. ランチを終え、陶の郷(立杭焼の郷)へと下っていく



15. 道標はしっかりしている



16. 緩やかな階段の道を下る



17. 陶の郷の施設の一部が見えてきた



18. 陶の郷を過ぎ、和田寺山をめざす



19. 上立杭の大アベマキ アベマキとしては国内最大の古木だそうだ



20 立杭焼の大きな登り窯 大アベマキのすぐ横にある



21. 立杭焼の解説案内板 山以外でゆっくりと訪ねるのも良いかも



22. 和田寺山の登山口に入る



23 道標は要所要所にある



24. 途中の分岐から和田寺山へと方向を変えて進む 結構道は荒れている。あまり入山者はいないようだ



25. 関西の山は近年の台風などで倒木が多く、ここもやはり例外ではなかった



26. この場所だけ視界が開けていた。ここ以外はすべて樹林の中のコースであった



27. 途中の分岐 頂上はもうすぐ



28. 和田寺山頂上 天気が崩れかかって、薄暗くなってきた



29. ここからぬくもりの湯(こんだ温泉)へと下っていく。写真を撮る余裕がなかったので写真はないが、激下りの結構きついコースであった



30. ササユリが一輪咲いていた 久しぶりにササユリに出会えた



31. 樹林の中にひっそりと咲くシライソウ(ユリ科) だと思うが... ゆっくり観察できなかった



32. 山から里に下りてきた



33. ぬくもりの湯(こんだ温泉)の施設内を進む



33. こんだ温泉でゆっくりと汗を流して帰路についた。ええ湯やったあ～